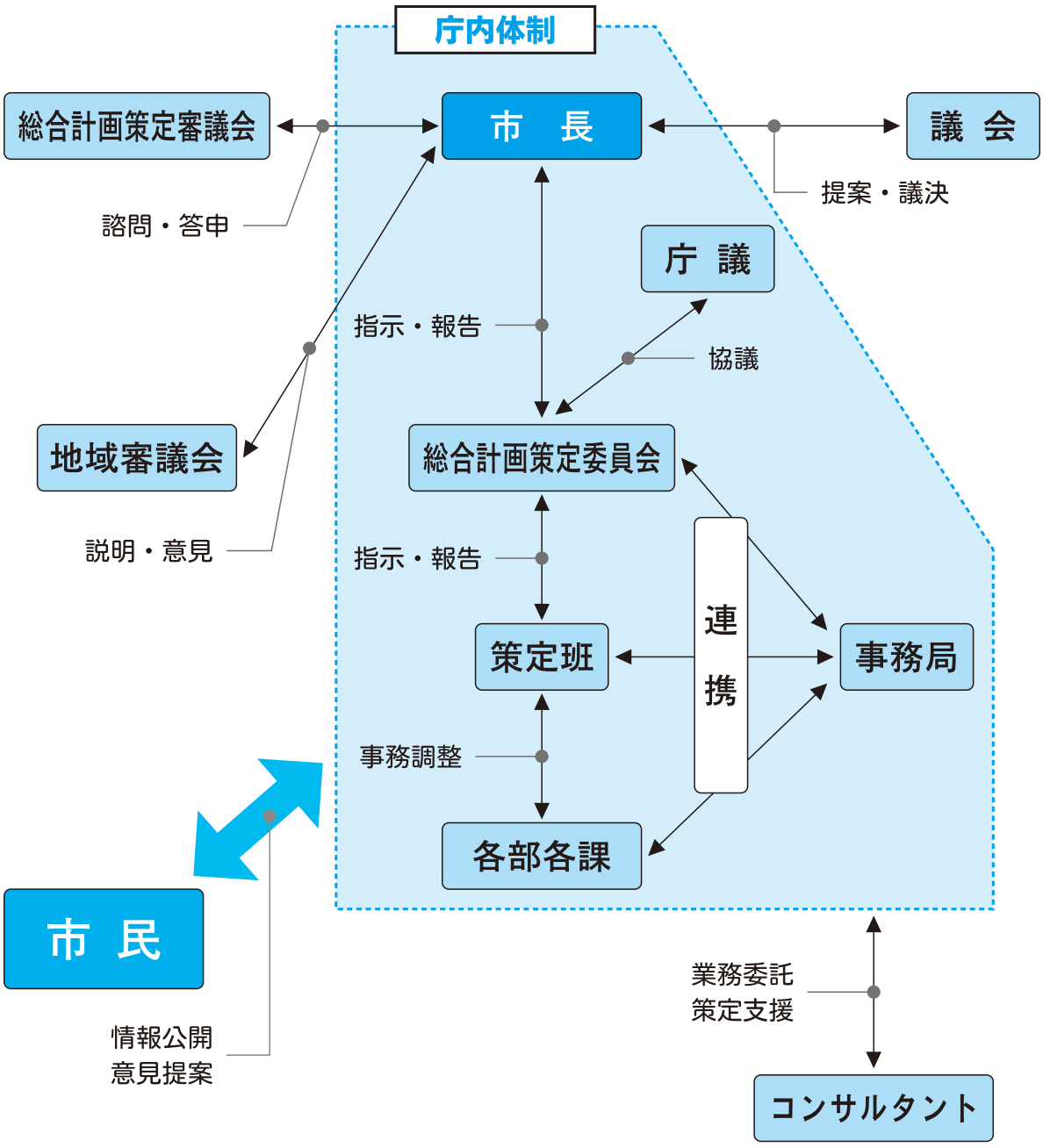
資　料　編

宇和島市総合計画　策定体系図
宇和島市総合計画　策定の経過
宇和島市総合計画について　諮問・答申書
宇和島市総合計画　策定審議会委員名簿

宇和島市総合計画　策定体系図



宇和島市総合計画　策定の経過

実施年月		作　業　内　容
H17	12	**総合計画策定審議会委員の公募を実施** ・広報12月号及び市 HP にて募集（公募委員 4 名）
H18	4	**庁議** ・総合計画策定について説明（平成18年度提案第 2 号）
	5	**第 1 回総合計画策定審議会開催** ・委員構成：市議 6 名、公共的団体代表者 8 名、学識経験者 2 名、公募委員 4 名の計20名 ・策定スケジュール、策定方法等について協議 **市長インタビューの実施** ・市の特性や課題、今後のまちづくりの方向性等について聞き取り調査を実施 **現地調査の実施** ・基本的な地域（集落）構造、主要な公共施設、産業施設等の配置状況と施設概要、市の中心地及び商店街の概況など地域の最新の実相把握を目的に実施
	6	**住民アンケート調査の実施** ・市内に居住する20歳以上の男女3,000名を対象に実施（有効回収票1,440票　有効回収率48.0％） ・市民の愛着度や定住性、期待する重点分野・重点施策を調査し、今後のまちづくりの方向性や重点施策を設定するための資料を得ると共に、ベンチマーク（成果指標）を導入した計画づくりを行うにあたっての現状数値を把握することを目的に実施 **策定班会議開催** ・新市まちづくり提案シート内容について協議
	7	**策定委員会開催** ・総合計画策定手順、スケジュール、新市まちづくり提案シートの作成、子ども未来会議の実施について協議 **各課担当者説明会** ・総合計画策定手順、スケジュールについて説明 ・新市まちづくり提案シートの作成依頼
	8	**将来人口予測・目標の設定** ・国勢調査及び住民基本台帳をもとに、今後の人口・世帯数などの推移を予測、併せて将来人口の目標案を設定 **子ども未来会議開催** ・市内 8 中学校の代表生徒32名をまちづくり委員として任命し、新しいまちづくりの方向性について多様に検討し、子どもたちの代表による提言として取りまとめを実施 **各種団体アンケート調査の実施** ・市内で活動する各種団体（106団体）を対象に実施（有効回収票70票　有効回収率66.0％） ・今後のまちづくりの方向性や重点施策を設定するための資料を得ることを目的に実施

実施年月		作　業　内　容
H18	10	**各課ヒアリング** ・各課の意向を詳細に把握するため、新市まちづくり提案シートに基づき、課別のヒアリングを実施 **第 2 回総合計画策定審議会開催** ・各種基礎調査の結果報告及び意見交換
H19	12	**基本構想素案修正** ・各課において修正
	2	**第 3 回総合計画策定審議会開催** ・基本構想検討原案について協議
	3	**市長協議** ・将来像、将来人口目標について協議 **基本構想検討原案修正** ・各課において修正 **第 4 回総合計画策定審議会開催** ・基本構想検討原案について協議
	4	**各課担当者説明会** ・施策マネジメントシートの作成依頼
	5	**パブリックコメントの実施** ・基本構想案に対する意見を募集
	6	**策定委員会開催** ・基本構想案について協議 **庁議** ・基本構想案の内容について確認（平成19年度提案第 1 号） **宇和島・吉田・三間・津島地域審議会** ・基本構想案について説明
	7	**第 5 回総合計画策定審議会開催** ・パブリックコメントの結果報告 ・各地域審議会で寄せられた意見の報告 ・基本計画の概要説明 **基本計画検討原案修正** ・各課において修正
	10	**第 6 回総合計画策定審議会開催** ・基本計画検討原案について協議 **パブリックコメントの実施** ・基本計画案に対する意見を募集
	11	**策定委員会開催** ・基本計画案について協議 **庁議** ・基本計画案の内容について確認（平成19年度提案第 3 号） **第 7 回総合計画策定審議会開催** ・パブリックコメントの結果報告 ・答申内容の協議 **答申** ・策定審議会から市長へ「宇和島市総合計画案」について答申
	12	**宇和島市議会12月定例議会** ・第一次宇和島市総合計画基本構想を議決

宇和島市総合計画について　諮問・答申書

宇政第281号
平成18年５月25日

宇和島市総合計画策定審議会
　会長　島　瀬　義　昭　　様

宇和島市長　石　橋　寛　久

第一次宇和島市総合計画（案）について（諮問）

　このことについて、平成20年度から平成29年度に係る第一次宇和島市総合計画（案）について、貴審議会の意見を求めます。

平成19年11月16日

宇和島市長　石　橋　寛　久　　様

宇和島市総合計画策定審議会
会長　島　瀬　義　昭

第一次宇和島市総合計画（案）について（答申）

平成18年5月25日付け、宇政第281号で諮問のありました「第一次宇和島市総合計画（案）」について、次のとおり答申します。

答　　申

当市は、平成17年８月１日、旧宇和島市、旧吉田町、旧三間町、旧津島町の４市町の合併によって、新しい宇和島市として誕生したところであるが、本市を取り巻く社会・経済情勢は、主要産業である第１次産業の低迷や少子高齢化の急速な進展に加え、国の三位一体の改革に伴う地方交付税の大幅な縮減の影響により、大変厳しい状況になっており、今後もさらに目まぐるしい変化が予想されるところである。

このような状況下において、今後、行財政の効率化をはじめとする合併の効果を最大限に生かし、また市民と行政との新たな関係を築きながら、より魅力的で持続可能なまちづくりを進めていく必要があり、その基本理念・基本方針として、第一次宇和島市総合計画案は概ね適切であると認め、審議過程での意見、要望を下記のとおり付して答申とする。

記

1　　これまでのような行政主導型の市政運営からの転換を図り、市民との協働による、旧１市３町それぞれの地域特性を生かしたまちづくりの推進に努められたい。

2　　行政評価システムの導入によりＰＤＣＡサイクルを確立し、選択と集中の観点から本計画に基づく事業の取捨選択を行い、市民の要望に沿った効率的・効果的な事業の推進を図るとともに、本計画の達成状況等について、市民への説明責任を果たすよう努められたい。

3　　職員の意識改革や行政のスリム化・効率化を徹底し、合併の効果を最大限に発揮した行政体制や財政基盤の強化に努められたい。

4　　まちづくりの柱となる第１次産業の振興を図ることはもとより、その振興が市全体の活性化に繋がるよう努められたい。

5　　多彩な観光・交流資源を最大限に活用した交流の促進、定住・移住の促進による人口減少の抑制に努められたい。

宇和島市総合計画 策定審議会委員名簿

団体名・役職名	氏名	備考
宇和島市議会議長	赤松南海男	市議会議員
宇和島市議会副議長	上田富久	〃
宇和島市議会総務企画委員長	若藤富一	〃
宇和島市議会文教福祉委員長	福島朗伯	〃
宇和島市議会環境建設委員長	赤松与一	〃
宇和島市議会産業経済委員長	我妻正三	〃
宇和島市教育委員	田坂佳代子	学識経験者
愛媛女子短期大学教授	○増井暁生	〃
宇和島商工会議所	新津昌雄	公共的団体の代表者
えひめ南農業協同組合	林正照	〃
宇和島市漁業協同組合協議会	仲川康雄	〃
宇和島市連合自治会長会	◎島瀬義昭	〃
宇和島市老人クラブ連合会	谷本森茂	〃
宇和島市女性団体連絡協議会	清家喜久子	〃
宇和島市体育協会	稲田司	〃
民生児童委員協議会	石山律子	〃
公募	中村日出男	公募市民
〃	中矢幸男	〃
〃	山本裕子	〃
〃	中田義秀	〃

（◎は会長、○は副会長）

異動等により途中で退任された委員

団体名・役職名	氏名	備考
宇和島市議会議長	浅田良治	市議会議員
宇和島市議会副議長	小清水千明	〃
〃	三好貞夫	〃
宇和島市議会総務企画委員長	福本義和	〃
宇和島市議会文教福祉委員長	上田富久	〃
宇和島市議会環境建設委員長	薬師寺三行	〃
〃	山内秀樹	〃
宇和島市議会産業経済委員長	玉田和正	〃
〃	富永照瑞	〃
宇和島市漁業協同組合協議会	中平道治	公共的団体の代表者
宇和島市老人クラブ連合会	福本進	〃

（団体・役職は就任時のもの）

宇和島市総合計画 用語解説

●アウトソーシング
外部委託

●アカウンタビリティ
説明責任

●新しい公共空間の形成
行政に委ねられてきた公共を再構築し、住民や民間が共に公共を担うこと

●ALT
外国語指導助手

●NPO
民間非営利組織

●グリーン購入
環境にやさしい製品購入

●グリーン・ツーリズム
農山村における滞在型の余暇活動

●コミュニティビジネス
地域社会の課題や問題の解決を目的とした住民主体の地域ビジネス

●三位一体の改革
国と地方の税財政改革

●指定管理者制度
公共施設の管理運営を民間事業者も担えるようにする制度

●自立支援プログラム
生活保護受給者の実態に応じた自立支援の内容及び実施手順等を定め、これに基づき個々に必要な支援を組織的に実施するもの

●３Ｒ運動
リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用

●セキュリティ
安全

●総合型地域スポーツクラブ
地域住民だれもが気軽に参加できる自主運営複合型スポーツクラブ

●地方分権
国と地方との関係や役割分担の改革

●道州制
都道府県に代えて道または州を置く制度

●虹色ツーリズム
グリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズム

●NPM
ニュー・パブリック・マネジメント：民間経営理念・手法を導入した新公共経営

●熱回収施設
焼却施設

●ノーマライゼーション
だれもが等しく普通の生活を送れる社会こそ正常であるという考え方

●バイオマス
生物由来の有機性資源

●HACCP
国際的な食品衛生管理手法

●パブリックコメント
ホームページ等を活用した住民意見の募集

●バリアフリー
障壁を取り除くこと

●BSE
牛海綿状脳症

●PDCA サイクル
Plan：計画→Do：実施→Check：点検・評価→Action：見直しの仕組み

●ファミリー・サポート・センター
子育ての援助を受けたい人と行いたい人が相互援助を行う会員制組織

●ブランド化
他の商品・製品と区別し、優れていることを一般消費者に認知してもらうことにより、商品・製品の価値の向上を図ること

●フリーゲージトレイン
新幹線が在来線に直通運転することができるよう、車輪の幅を自動的に変えられる電車

●ブルー・ツーリズム
漁村における滞在型の余暇活動

●ブロードバンド
光ファイバ等により大容量のデータを高速でやりとりできる通信環境

●ヘルスプロモーション
自らの健康をコントロールし、改善できるようにするプロセス
健康で生活できる期間

●ベンチマーク
成果指標

●ホスピタリティ
もてなしの心

●マイバッグ
買い物袋持参

●メタボリック・シンドローム
内臓脂肪症候群

●メリット
効果

●ユニバーサル・デザイン
すべての人が使いやすい施設や建物のデザイン

●ユビキタスネット社会
いつでも・どこでも・何でも・だれでもがネットワークを利用できる社会

●ロードマップ
時系列で整備予定等を示した図表や地図